

二、次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

あなたはたけのこが大きな竹に生長するまでを見たことがあるだろうか。家の近くにモウソウチクの竹やぶのある人は知っていると思うが、頭を出したばかりのたけのこは、二、三か月で二十メートルにもなる。いちばん勢いのあるときは、一日に百二十センチメートルものびるほどだ。まっすぐ天に向かっているのび、ほとんど曲がらない。

一方、竹やぶの地中には地下けい（けい）が広がっていて、この地下けいのほうも負けずにのびていくことが、調査でわかっている。例えば、一ヘクタールの面積に四千本から九千本のモウソウチクが生えていると、その地下けいの長さは、全部で二万五千メートルから十一万三千メートルにも達し、大地をしつかりとつかんでいる。

このように、竹は、ふつうの木とはちがった独特な生き方をしているのである。

さて、次に、生長した竹は、どんな特性をもっているか考えてみよう。切ってきた竹をわると、たてに一直線に、ほぼ均一（ひとし）のはばにたやすくきれいにさくことができる。また、弾力（りき）があり、強く曲げても折れにくい。同じような細さにけずった場合、木よりも強い。しかもいくらかでも細くなる。さらに、竹の中は空っぽで、適当（てきとう）に節があるパイプの形をしている。このため、つりざおのように、大小の竹と竹とをつなぐことも簡単である。また、節ごとにしきりがあるので、そのしきりを生かした切り方をすれば、物を入れることもできる。

以上のような竹のいろいろな特性を生かして、日本人は、竹を生活や文化に役立ててきた。それでは、どう役立ててきたかを、その特性に合わせて整理してみよう。

まず第一に、たけのこを食用にする。たけのこには、炭水化物、たんばく質やしぼうが、たまねぎやキャベツと同じくらいふくまれている。特に、先のほうのやわらかな部分だとたんばく質は、たまねぎの数倍になる。「A」

第二に、建築材として使う。柱やかべ、天井（ていけい）やえんがわ、家のまわりのかきねなどによく利用する。竹の軽さと強さが便利だし、何より、木は何十年もしないと利用できないのに、竹は三、四年で利用できるからありがたい。「B」

第三に、竹やぶを防災に活用する。竹やぶは、地下けいと根で数十センチメートルの深さの土をひきしめ、地上の多数の竹と連なって、強い力を出す。だから、山くずれ、てい防の決（き）かいなどを防いでくれる。「地しんのときには竹やぶへにげよ。」という、昔からの言い伝えもある。そればかりではなく、竹やぶは、風にも、騒音（さうおん）にも強い。「C」

第四に、さまざまな道具に使う。竹ざるなどの日用品、筆などの文具、お茶の道具、笛などの楽器、竹とんぼなどのおもちゃとして使う。そのほか、アクセサリーや人形などの竹工芸は、わたしたちの目を楽しませ、生活にうるおいをあた

えてくれる。「D」

このように、日本人は、竹のいろいろな特性をよく知って、竹とともに生き、生活や文化に役立ててきた。身近にありながらわすれられがちな竹の力は、今、あらためて見直されてよい時に来ている。（上田弘一郎「竹とともに生きる」より）

*1 特性Ⅱそのものだけが持つ持っているすぐれた性質。
*2 均一（ひとし）どれも同じであること。 *3 弾力Ⅱ外からの力をはね返そうとする力。 *4 騒音Ⅱうるさい音。

(1) 次の①・②の文は、「C」A～Dのいずれかに入ります。どこに入るのか、それぞれA～Dの記号で答えなさい。

① さらに付け加えると、昔から、竹の皮や葉などが、にぎり飯（にぎりいひ）やすしや牛肉などを包むのに使われてきた。これは、ばいきんを防ぎ、物をくさらせないはたらきがあるからである。

② また、たけのこの皮は、牛や馬、とりわけ、にゅう牛のよいえさになる。

(2) 線①「どう役立ててきたか」とありますが、筆者は四つあげています。その四つを、それぞれ二字～三字のじゅく語で答えなさい。

(3) 第二段落（7～12行目）にある竹の特性は、(2)であげた四つのうちのどれとして役立っていますか。

(4) 線②「騒音にも強い。」とありますが、これはどういうことですか。次からよいと思うものを選び、記号で答えなさい。

A 葉と葉がこすれ合う音は、どんな騒音にも負けない。
I どんな騒音があっても、かれることはない。
U どんな騒音も、ぜったいに通さない。
エ 騒音をずいぶんやわらげられる。

(5) 線③「竹ざる」は、15行目から23行目にあげた竹の特性①②③の文のどれを利用しているのですか。①②③の記号で、すべて答えなさい。

(6) この文章で筆者がいったことを十字以内にまとめなさい。（句読点も一字とする。）

一、次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

この地球の上に、わたしたち人類の祖先が誕生したのは、今からおよそ三百五十万年から四百万年ほど前のことだといわれている。その人類は、すぐれたちえと技術とをもち合わせていたために、ほかの生物たちをしりめに、すばらしい発展をとげてきた。特に、この二百年ほどの科学技術の発達は、いちじるしく、わたしたちは今、たいへん便利な生活を送ることができるようになった。

身の回りを見回しただけでも、多くのものが自動化されたために、人手をあまり使わなくてもすむようになったし、家庭のテレビでは、世界各地で今起こっているできごとを、居ながらにして見ることができるようになった。また、交通機関も発達して、日本からヨーロッパまで、十二時間前後で飛ぶことができるようになった。

しかし、わたしたちがこうした便利な生活を送るためには、地球上のたくさんの資げんやエネルギーを使わなければならぬ。①そのことが、今、②地球の環境に大きなえいきょうをおよぼしつつある。

例えば、世界の各地で森林がどんどん切り開かれている。木は、紙などを作るための材料とされたり、燃料として使われたりする。切られたあとの土地は、耕地や住居のための用地となる。しかし、森林がなくなると、大雨の際、山くずれや洪水などの災害を引き起こしやすくなり、土地はあれ果てていく。こうして、不毛のさばくに変わってしまった地いきさもある。

また、森林やひがたなどの開発が進んだために、野生の生物たちはすみかをうばわれ、次々とほろびようとしている。野生の生物の種類が減るということは、自然がそれだけ貧しくなることであり、生物の一員である人類にとっても、決して好ましいことではない。

さらに、資げんやエネルギーを大量に使えば使うほど、その結果として出る廃棄物の量も増える。そのため、地球上の各地で、生物にとって大切な水や空気がよごれてしまった。海や川のよごれは、水辺に住む生物はもちろん、人類にも悪いえいきょうをあたえ、大気によごれは健康をそこなう原因となっている。

そのうえ、人類全体にとって重大な問題は、わたしたちが石油や石炭を大量に消費しているために、地球をおおう大気中の二酸化炭素が増え続けていることである。二酸化炭素は、地表から宇宙空間に上げていくはずの熱を吸収する働きがあるため、地球の気温がどんどん上がっていくだろうと予測されている。

このままの活動を人類が続ければ、地球の環境は悪くなる一方で、その結果、人類が永遠に生きていけるかどうかさえあやぶまれているのである。言いかえれば、わたしたち

の生活を支えている便利さと引きかえに、地球が重い病気になる、最終的には人類自身に、大きなわがわいがおよぼすとしているということができる。

(伊藤和明「一秒が一年をこわす」より)
*廃棄物Ⅱいらなくなつてすてられたもの。

(1) 第二段落(8～13行目)に書かれていることはどんなことの例としてあげられているのですか。文章中から五字の言葉をぬき出し、次の文を完成させなさい。

わたしたちの

--	--	--	--	--

の例。

(2) 線①「そのこと」とは何を指していますか。

(3) 線②「地球の環境に大きなえいきょうをおよぼしつつある。」とありますが、次のことはどんなことのせいで起きていくのですか。文章中の言葉を使って、十字前後で答えなさい。

1 山くずれや洪水などの災害を引き起こしやすくなり、土地があれ果てていく。

2 水や空気がよごれ、健康をそこなう。

(4) 線③「大気中の二酸化炭素が増え続けている」とありますが、このことは、地球の環境にどんなえいきょうをおよぼすと予測されていますか。

(5) 次の各文のうち、この文章の内容と合っているものには○を、合っていないものには×をつけなさい。

ア すぐれたちえと科学技術によって、わたしたちは他の生物をしりめに、たいへん便利な生活を送っている。

イ わたしたちが便利な生活を送っていられるのは、地球が重い病気になるからである。

ウ 現在のままでは、地球の環境がますます悪くなり、人類は生き残れないかもしれない。

エ 資げんやエネルギーを大量に使って出る廃棄物をどう処理するかを考えないと、人類は生きていけなくなる。オ わたしたちは便利な生活と引きかえに地球の環境を悪くしているので、昔の不便な生活にもどる必要がある。

ア

--

イ

--

ウ

--

エ

--

オ

--

問題一 次の――線の漢字の読みを答えなさい。

- ① 発芽の様子。 ② 商品を改良する。 ③ 街灯がともる。 ④ 各自が持つていく。
⑤ 内側をそうじする。 ⑥ 空を飛ぶ願望。 ⑦ 風紀がみだれる。 ⑧ 大会の旗手をつとめる。
⑨ 清い流れの川。 ⑩ 積極的に行動する。 ⑪ 競馬を見に行く。 ⑫ フェリーが欠航した。

①	②	③	④
⑤	⑥	⑦	⑧
⑨	⑩	⑪	⑫
い			

問題二 次の――線のカタカナを漢字に直しなさい。

- ① 工場のキカイ。 ② スイガイをふせぐ。 ③ カガミを見る。 ④ カンカクがするどい。
⑤ 茶わんがカける。 ⑥ シンガタの車。 ⑦ 考えがカタまる。 ⑧ 明日カナラず返す。
⑨ 本をカリる。 ⑩ カンセイした作品。 ⑪ 出欠をカンリする。 ⑫ キセツのうつりかわり。

①	②	③	④
⑤	⑥	⑦	⑧
ける			まる
⑨	⑩	⑪	⑫
りる			
			ず

問題三 次の漢字の部首名をひらがなで答えなさい。

- ① 送 ② 折 ③ 歌 ④ 都

①	②	③	④

問題四 次の――線のことばの主語にあたることばを、それぞれぬき出して答えなさい。

- ① となりの 犬は あまり 鳴かない。 ② さくらの 花が もうすぐ さきそうだ。
③ 大きな 箱を 父が 一人で 運んだ。 ④ 明日 市民ホールで ピアノの 発表会が ある。

①	②	③	④

問題一 次の――線の漢字の読みを答えなさい。

- ① 受験をする。 ② 固形のスープ。 ③ 功労者をねぎらう。 ④ みかんが好物だ。
⑤ 工事の予告をする。 ⑥ 別の方法を試みる。 ⑦ 読書を好む。 ⑧ 交差点をわたる。
⑨ 菜園を手入れする。 ⑩ ニュースの取材。 ⑪ 町が栄える。 ⑫ 一昨日のできごと。

①	②	③	④
	みる	む	
⑤	⑥	⑦	⑧
⑨	⑩	⑪	⑫
		える	

問題二 次の――線のカタカナを漢字に直しなさい。

- ① カイギをひらく。 ② カンキヤクがさわぐ。 ③ ヨウキユウをのむ。 ④ キュウジョを行う。
⑤ クラを建てる。 ⑥ クンレンをする。 ⑦ 円のハンケイ。 ⑧ ヤケイをながめる。
⑨ ケツキョク負けた。 ⑩ ケンコウな体。 ⑪ 男女キョウガク。 ⑫ コナユキがまいちる。

①	②	③	④
⑤	⑥	⑦	⑧
⑨	⑩	⑪	⑫

問題三 次の漢字の部首名をひらがなで答えなさい。

- ① 陽 ② 建 ③ 雲 ④ 発

①	②	③	④

問題四 次の――線のことばの主語にあたることばを、それぞれぬき出して答えなさい。

- ① 小さなカードが 足もとに 落ちていた。 ② どうくつの 中は 暗くて わからなかった。
③ 赤い 光が 山の 向こうに おりていった。 ④ 大きな 魚が 池の 中で 泳いでいる。

①	②	③	④

二、次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

あなたはたけのこが大きな竹に生長するまでを見たことがあるだろうか。家の近くにモウソウチクの竹やぶのある人は知っていると思うが、頭を出したばかりのたけのこは、二、三か月で二十メートルにもなる。いちばん勢いのあるときは、一日に百二十センチメートルものびるほどだ。まっすぐ天に向かっているのび、ほとんど曲がらない。

一方、竹やぶの地中には地下けい（けい）が広がっていて、この地下けいのほうも負けずにのびていくことが、調査でわかっていく。例えば、一ヘクタールの面積に四千本から九千本のモウソウチクが生えていると、その地下けいの長さは、全部で二万五千メートルから十一万三千メートルにも達し、大地をしつかりとつかんでいる。

このように、竹は、ふつうの木とはちがった独特な生き方をしているのである。

さて、次に、生長した竹は、どんな特性をもっているか考えてみよう。切ってきた竹をわると、たてに一直線に、ほぼ均一のはばにたやすくきれいにさくことができる。また、弾力があり、強く曲げてでも折れにくい。同じような細さにけずった場合、木よりも強い。しかもいくらかでも細くなる。さらに、竹の中は空っぽで、適当に節があるパイプの形をしている。このため、つりざおのように、大小の竹と竹とをつなぐことも簡単である。また、節ごとにしきりがあるので、そのしきりを生かした切り方をすれば、物を入れることもできる。以上のような竹のいろいろな特性を生かして、日本人は、竹を生活や文化に役立ててきた。それでは、どう役立ててきたかを、その特性に合わせて整理してみよう。

まず第一に、たけのこを食用にする。たけのこには、炭水化物、たんばく質やしぼうが、たまねぎやキャベツと同じくらいふくまれている。特に、先のほうのやわらかな部分だと、たんばく質は、たまねぎの数倍になる。「A」

第二に、建築材として使う。柱やかべ、天井（てんじやう）やえんがわ、家のまわりのかきねなどによく利用する。竹の軽さと強さが便利だし、何より、木は何十年もしないと利用できないのに、竹は三、四年で利用できるからありがたい。「B」

第三に、竹やぶを防災に活用する。竹やぶは、地下けいと根で数十センチメートルの深さの土をひきしめ、地上の多数の竹と連なって、強い力を出す。だから、山くずれ、てい防の決かいなどを防いでくれる。「地しんのときには竹やぶへにげよ。」という、昔からの言い伝えもある。そればかりではなく、竹やぶは、風にも、騒音にも強い。「C」

第四に、さまざまな道具に使う。竹ざるなどの日用品、筆などの文具、お茶の道具、笛などの楽器、竹とんぼなどのおもちゃとして使う。そのほか、アクセサリや人形などの竹工芸は、わたしたちの目を楽しませ、生活にうるおいをあた

えてくれる。「D」

このように、日本人は、竹のいろいろな特性をよく知って、竹とともに生き、生活や文化に役立ててきた。身近にあらわすれられがちな竹の力は、今、あらためて見直されてよい時に来ている。（上田弘一郎「竹とともに生きる」より）

*1 特性Ⅱそのものだけが持っているすぐれた性質。
*2 均一（ひとし）でも同じであること。
*3 弾力Ⅱ外からの力をはね返そうとする力。
*4 騒音Ⅱうるさい音。

(1) 次の③・⑤の文は、「C」A～Dのいずれかに入ります。どこに入るのか、それぞれA～Dの記号で答えなさい。

③ さらに付け加えると、昔から、竹の皮や葉などが、にぎり飯やすしや牛肉などを包むのに使われてきた。これは、ばいきんを防ぎ、物をくさらせないはたらきがあるからである。

⑤ また、たけのこの皮は、牛や馬、とりわけ、にゅう牛のよいえさになる。

(2) 線①「どう役立ててきたか」とありますが、筆者は四つあげています。その四つを、それぞれ二字～三字のじゆく語で答えなさい。

食 用 建 築 材
防 災 道 具

(3) 第二段落（7～12行目）にある竹の特性は、(2)であげた四つのうちのどれとして役立っていますか。

防 災

(4) 線②「騒音にも強い。」とありますが、これはどういうことですか。次からよいと思うものを選び、記号で答えなさい。

A 葉と葉がこすれ合う音は、どんな騒音にも負けない。
I どんな騒音があっても、かれることはない。
U どんな騒音も、ぜったいに通さない。
エ 騒音をずいぶんやわらげてくれる。

(5) 線③「竹ざる」は、15行目から23行目にあげた竹の特性③⑤の文のどれを利用していいのですか。③⑤の記号で、すべて答えなさい。

あ い う え

(6) この文章で筆者がいったかったことを十字以内にまとめなさい。（句読点も一字とする。）

竹	の	力	を	見
直	そ	う		

二、次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

この地球の上に、わたしたち人類の祖先が誕生したのは、今からおよそ三億五千万年から四億五千万年ほど前のことだといわれている。その人類は、すぐれたちえと技術とをもち合わせていたために、ほかの生物たちをしりめに、すばらしい発展をとげてきた。特に、この二百年ほどの科学技術の発達は、いちじるしく、わたしたちは今、たいへん便利な生活を送ることができるようになった。

身の回りを見回しただけでも、多くのものが自動化されたために、人手をあまり使わなくてもすむようになったし、家庭のテレビでは、世界各地で今起こっているできごとを、居ながらにして見る事ができるようになった。また、交通機関も発達して、日本からヨーロッパまで、十二時間前後で飛ぶことができるようになった。

しかし、わたしたちがこうした便利な生活を送るためには、地球上のたくさんの資げんやエネルギーを使わなければならぬ。①そのことが、今、地球の環境に大きなえいきょうをおよぼしつつある。

例えば、世界の各地で森林がどんどん切り開かれている。木は、紙などを作るための材料とされたり、燃料として使われたりする。切られたあとの土地は、耕地や住居のための用地となる。しかし、森林がなくなると、大雨の際、山ぐずれや洪水などの災害を引き起こしやすくなり、土地はあれ果てていく。こうして、不毛のさばくに変わってしまった地いきさえある。

また、森林やひがたなどの開発が進んだために、野生の生物たちはすみかをうばわれ、次々とほろびようとしている。野生の生物の種類が減るということは、自然がそれだけ貧しくなることであり、生物の一員である人類にとっても、決して好ましいことではない。

さらに、資げんやエネルギーを大量に使えば使うほど、その結果として出る廃棄物の量も増える。そのため、地球上の各地で、生物にとって大切な水や空気がよごれてしまった。海や川のよごれは、水辺に住む生物はもちろん、人類にも悪いえいきょうをあたえ、大気によごれは健康をそこなう原因となっている。

そのうえ、人類全体にとって重大な問題は、わたしたちが石油や石炭を大量に消費しているために、地球をおおう大気中の二酸化炭素が増え続けていることである。二酸化炭素は、地表から宇宙空間に上げていくはずの熱を吸収する働きがあるため、地球の気温がどんどん上がっていくだろうと予測されている。

このままの活動を人類が続けていけば、地球の環境は悪くなる一方で、その結果、人類が永遠に生きていけるかどうかさえあやぶまれているのである。言いかえれば、わたしたち

の生活を支えている便利さと引きかえに、地球が重い病気にかかり、最終的には人類自身に、大きなわざわいがおよぼうとしているということができる。

(伊藤和明「一秒が一年をこわす」より)

*廃棄物Ⅱいらなくなってすてられたもの。

(1) 第二段落(8〜13行目)に書かれていることはどんなことの例としてあげられているのですか。文章中から五字の言葉をぬき出し、次の文を完成させなさい。

わたしたちの

便利な生活

の例。

(2) 線①「そのこと」とは何を指していますか。

地球上のたくさんの資源やエネルギーを使わなければならないこと。

(3) 線②「地球の環境に大きなえいきょうをおよぼしつつある。」とありますが、次のことはどんなことのせいで起きていくのですか。文章中の言葉を使って、十字前後で答えなさい。

山ぐずれや洪水などの災害を引き起こしやすくなり、土地があれ果てていく。

森林を切り開いたせい。

2 水や空気がよごれ、健康をそこなう。

廃棄物の量が増えたせい。

(4) 線③「大気中の二酸化炭素が増え続けている」とありますが、このことは、地球の環境にどんなえいきょうをおよぼすと予測されていますか。

地球の気温が上がっていく。

(5) 次の各文のうち、この文章の内容と合っているものには○を、合っていないものには×をつけなさい。

ア すぐれたちえと科学技術によって、わたしたちは他の生物をしりめに、たいへん便利な生活を送っている。

イ わたしたちが便利な生活を送っていられるのは、地球が重い病気にかかっているからである。

ウ 現在のままでは、地球の環境がますます悪くなり、人類は生き残れないかもしれない。

エ 資げんやエネルギーを大量に使って出る廃棄物をどう処理するかを考えないと、人類は生きていけなくなる。

オ わたしたちは便利な生活と引きかえに地球の環境を悪くしているので、昔の不便な生活にもどる必要がある。

ア ○ イ × ウ ○ エ × オ ×

問題一 次の一線の漢字の読みを答えなさい。

- | | | | |
|-------------|-------------|------------|---------------|
| ① 発芽の様子。 | ② 商品を改良する。 | ③ 御灯がとる。 | ④ 各自が持つていく。 |
| ⑤ 内側をそうじする。 | ⑥ 空を飛ぶ願望。 | ⑦ 風紀がみだれる。 | ⑧ 大会の旗手をつとめる。 |
| ⑨ 清い流れの川。 | ⑩ 積極的に行動する。 | ⑪ 競馬を見に行く。 | ⑫ フェリーが欠航した。 |

①	はっが	②	かいりょう	③	がいとう	④	かくじ
⑤	うちがわ	⑥	がんぼう	⑦	ふうき	⑧	きしゅ
⑨	きよい	⑩	せっきょくき	⑪	けいば	⑫	けっこう

問題二 次の一線のカタカナを漢字に直しなさい。

- | | | | |
|------------|-------------|-------------|---------------|
| ① 工場のキカイ。 | ② スイガイをふせぐ。 | ③ カガミを見る。 | ④ カンカクがするどい。 |
| ⑤ 茶わんがかける。 | ⑥ シンガタの車。 | ⑦ 考えがカタまる。 | ⑧ 明日カナラ返す。 |
| ⑨ 本をかりる。 | ⑩ カンセイした作品。 | ⑪ 出欠をカンリする。 | ⑫ キセツのうつりかわり。 |

①	機械	②	水害	③	鏡	④	感覚
⑤	欠ける	⑥	新型	⑦	固まる	⑧	必ず
⑨	借りる	⑩	完成	⑪	管理	⑫	季節

問題三 次の漢字の部首名をひらがなで答えなさい。

- ① 送 ② 折 ③ 歌 ④ 都

①	しんにょう	②	てへん	③	あくび	④	おおざと
---	-------	---	-----	---	-----	---	------

問題四 次の一線のことばの主語にあたることばを、それぞれぬき出して答えなさい。

- | | |
|------------------|-----------------------|
| ① となりの犬はあまり鳴かない。 | ② さくらの花がもうすぐさきそうだ。 |
| ③ 大きな箱を父が一人で運んだ。 | ④ 明日市民ホールでピアノの発表会がある。 |

①	犬は	②	花が	③	父が	④	発表会が
---	----	---	----	---	----	---	------

問題一 次の一線の漢字の読みを答えなさい。

- ① 受験をする。 ② 固形のスープ。 ③ 功労者をねぎらう。 ④ みかんが好物だ。
 ⑤ 工事の予告をする。 ⑥ 別の方法を試みる。 ⑦ 読書を好む。 ⑧ 交差点をわたる。
 ⑨ 菜園を手入れする。 ⑩ ニュースの取材。 ⑪ 町が栄える。 ⑫ 一昨日のできごと。

①	いゆけん	②	こけい	③	こうろうしゃ	④	こうばつ
⑤	よこく	⑥	こころみる	⑦	このむ	⑧	こうさてん
⑨	さいえん	⑩	しゅざい	⑪	さかえる	⑫	いっさくじつ

問題二 次の一線のカタカナを漢字に直しなさい。

- ① カイギをひらく。 ② カンキヤクがさわぐ。 ③ ヨウキユウをのむ。 ④ キュウジヨを行う。
 ⑤ クラを建てる。 ⑥ クンレンをする。 ⑦ 円のハンケイ。 ⑧ ヤケイをながめる。
 ⑨ ケツキヨク負けた。 ⑩ ケンコウな体。 ⑪ 男女ギョウガク。 ⑫ コナユキがまいちる。

①	会議	②	観客	③	要求	④	救助
⑤	倉	⑥	訓練	⑦	半径	⑧	夜景
⑨	結局	⑩	健康	⑪	共学	⑫	粉雪

問題三 次の漢字の部首名をひらがなで答えなさい。

- ① 陽 ② 建 ③ 雲 ④ 発

①	いざとへん	②	えんにょう	③	あめかんむり	④	はつがしら
---	-------	---	-------	---	--------	---	-------

問題四 次の一線のことばの主語にあたることばを、それぞれぬき出して答えなさい。

- ① 小さなカードが 足もとに 落ちていた。 ② どうくつの 中は 暗くて わからなかった。
 ③ 赤い 光が 山の 向こうに おりていった。 ④ 大きな 魚が 池の 中で 泳いでいる。

①	カードが	②	中は	③	光が	④	魚が
---	------	---	----	---	----	---	----